

ドイツ・ETFアロケーション・ファンド (安定型) / (成長型)

愛称：プラチナラップ

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第8期（決算日：2023年10月10日）

作成対象期間（2022年10月8日～2023年10月10日）

第8期末（2023年10月10日） (安定型)	
基準価額	10,338円
純資産総額	577百万円
第8期 (2022年10月8日～2023年10月10日)	
騰落率	△0.5%
分配金合計	0円

第8期末（2023年10月10日） (成長型)	
基準価額	13,625円
純資産総額	716百万円
第8期 (2022年10月8日～2023年10月10日)	
騰落率	6.9%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「トップページ」→「ファンド情報」→「ファンド関連情報」→「運用報告書一覧」のページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。

※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ドイツ・ETFアロケーション・ファンド（安定型）／（成長型）（愛称：プラチナラップ）」は、2023年10月10日に第8期の決算を行いました。当ファンドは、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー

＜お問い合わせ先＞

電話番号：03-5156-5108

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/ja-jp/>

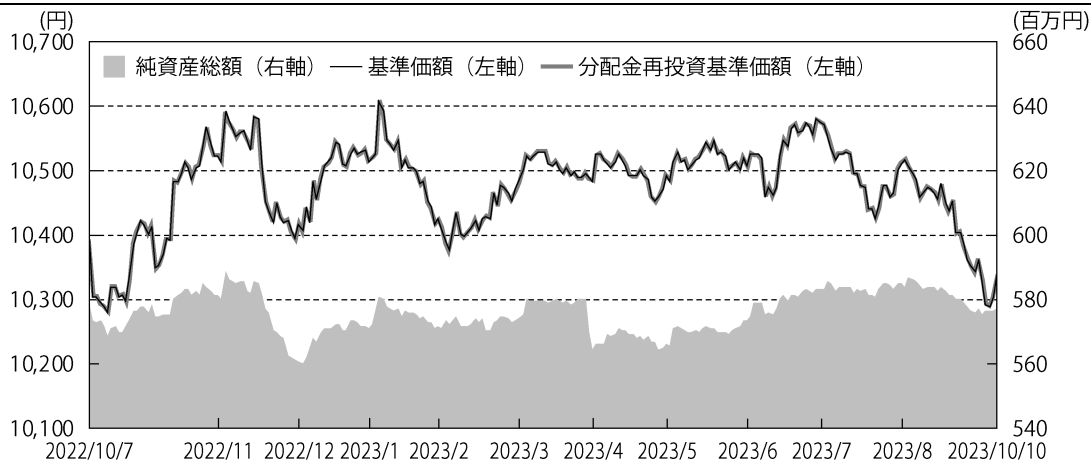
*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

【安定型】

■基準価額等の推移について

（2022年10月8日～2023年10月10日）



第8期首：10,394円

第8期末：10,338円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△0.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。米欧中銀の金融引き締めを背景とした金利*上昇を受けて国債市場が下落したことや、為替ヘッジコストを受けて、基準価額は下落しました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2022年10月8日～2023年10月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	67円	0.643%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,473円です。
（投 信 会 社）	(32)	(0.305)	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	(32)	(0.305)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	12	0.119	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.016)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	(11)	(0.102)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	79	0.762	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

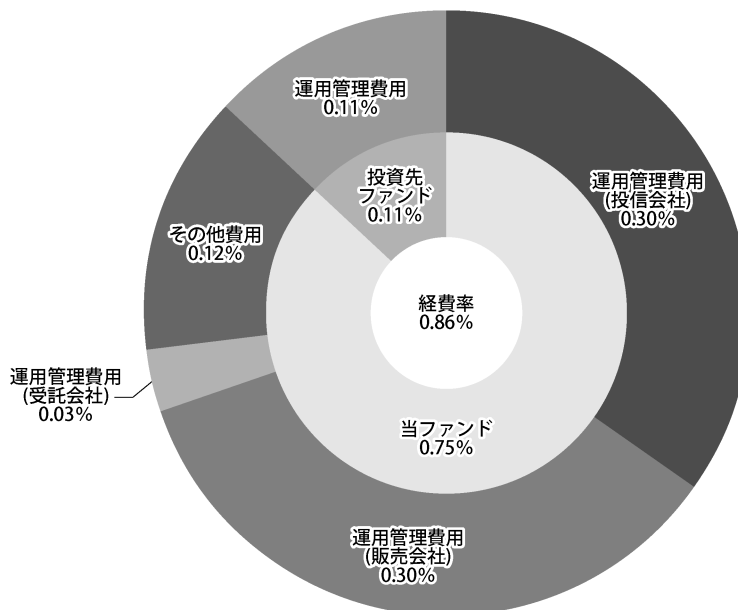
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○**経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.86%です。



（単位：％）

経費率（①+②）	0.86
①当ファンドの費用の比率	0.75
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.11

（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2018年10月9日～2023年10月10日)



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年10月9日	2019年10月7日	2020年10月7日	2021年10月7日	2022年10月7日	2023年10月10日
基準価額 (円)	10,251	10,505	10,718	11,258	10,394	10,338
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.5	2.0	5.0	△7.7	△0.5
純資産総額 (百万円)	540	559	550	563	578	577

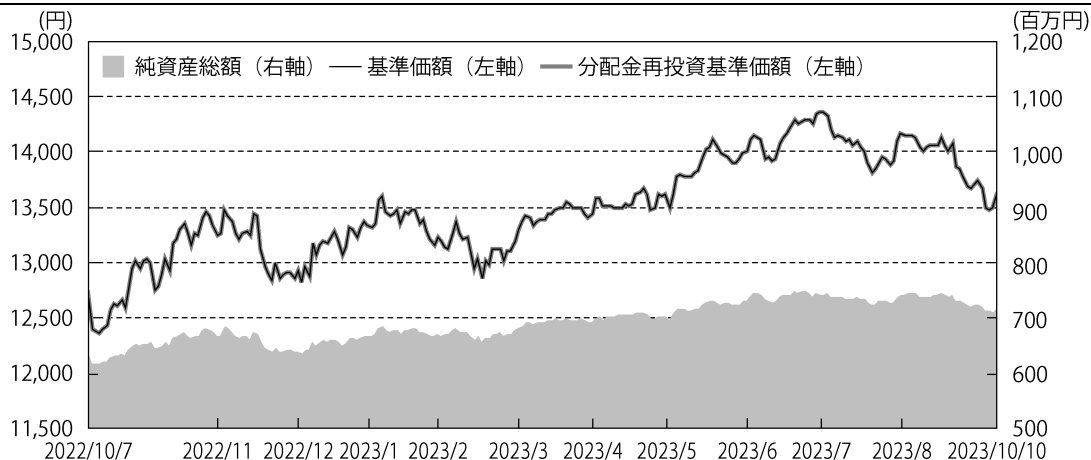
- 当ファンドは、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

【成長型】

■基準価額等の推移について

（2022年10月8日～2023年10月10日）



第8期首：12,748円

第8期末：13,625円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：6.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。世界株式市場が上昇したことや、為替市場で米ドルやユーロが対円で上昇したこと等を受けて、基準価額は上昇しました。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 2022年10月8日～2023年10月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	125円	0.921%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,526円です。
（投 信 会 社）	（ 60）	（0.444）	委託した資金の運用等の対価
（販 売 会 社）	（ 60）	（0.444）	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受 託 会 社）	（ 5）	（0.033）	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	16	0.119	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	（ 2）	（0.017）	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用・印刷費用等）	（ 14）	（0.102）	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や目論見書や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	141	1.040	

(注) 期中において発生した費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

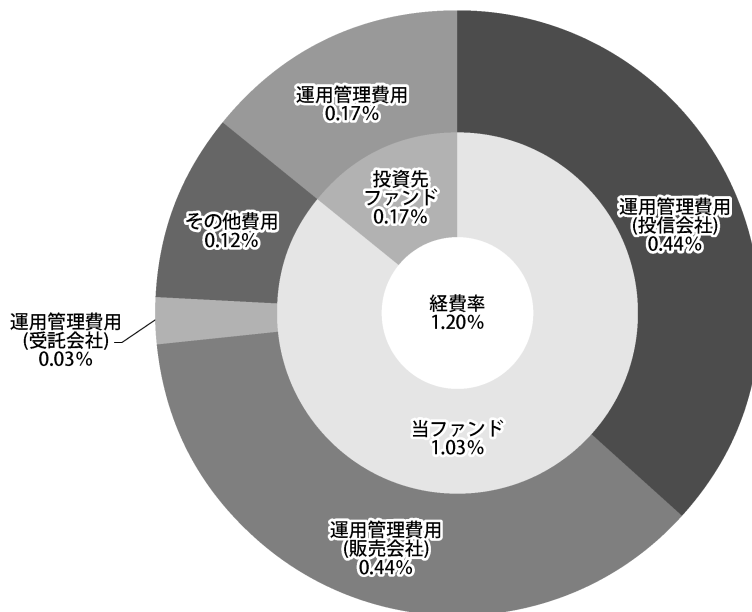
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.20%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.20
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について

（2018年10月9日～2023年10月10日）



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年10月9日	2019年10月7日	2020年10月7日	2021年10月7日	2022年10月7日	2023年10月10日
基準価額 (円)	11,236	11,124	11,795	14,173	12,748	13,625
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△1.0	6.0	20.2	△10.1	6.9
純資産総額 (百万円)	481	525	553	621	634	716

●当ファンドは、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

■投資環境について

(2022年10月8日～2023年10月10日)

【安定型】

当期の世界株式市場で株価は上昇しました。米国のインフレ鈍化や、利上げサイクルが終了に近づいているとの楽観、中国の景気回復期待、暖冬により欧州のエネルギー不足懸念の後退、一部企業の好決算、AI（人工知能）ブームを背景とした関連銘柄の物色等が株価を押し上げました。しかし期末にかけては、米国債の格下げや、米国の高金利環境の長期化や中国の景気減速等が懸念され株価は小幅調整し、期を終えました。

当期の世界債券市場で、主要国の10年国債利回り（長期金利）は、米国、欧州（ドイツ）ともに上昇（価格は下落）しました。米地銀の破綻等を受けて金融セクター不安が高まり一時的に金利が低下する局面も見られましたが、欧米中銀による急速な利上げや、中銀が長期間政策金利を高水準で維持するとの見方が広がったことから、長期金利は上昇しました。

【成長型】

当期の世界株式市場で株価は上昇しました。米国のインフレ鈍化や、利上げサイクルが終了に近づいているとの楽観、中国の景気回復期待、暖冬により欧州のエネルギー不足懸念の後退、一部企業の好決算、AI（人工知能）ブームを背景とした関連銘柄の物色等が株価を押し上げました。しかし期末にかけては、米国債の格下げや、米国の高金利環境の長期化や中国の景気減速等が懸念され株価は小幅調整し、期を終えました。

当期の世界債券市場で、主要国の10年国債利回り（長期金利）は、米国、欧州（ドイツ）ともに上昇（価格は下落）しました。米地銀の破綻等を受けて金融セクター不安が高まり一時的に金利が低下する局面も見られましたが、欧米中銀による急速な利上げや、中銀が長期間政策金利を高水準で維持するとの見方が広がったことから、長期金利は上昇しました。

■当該投資信託のポートフォリオについて

(2022年10月8日～2023年10月10日)

【安定型】

当ファンドでは当初の運用方針通り、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

主に上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、先進国の株式、国債および投資適格社債を実質的な投資対象とし、分散されたポートフォリオの構築を行いました。資産クラス別では、期を通して先進国国債や投資適格社債等高めとする配分を基本としました。投資行動としては、米国社債のETFを購入した一方で、ユーロ圏国債3～5年のETFを売却する等しました。

【成長型】

当ファンドでは当初の運用方針通り、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

主にETFへの投資を通じて、世界の株式および債券に加え、REIT、コモディティ、ヘッジファンド等を実質的な投資対象とし、分散されたポートフォリオの構築を行いました。資産クラス別では、期を通して先進国株式の配分を高めとしました。投資行動としては、欧州株式のETFを購入した一方で、米国株式のETFを売却する等しました。

■ベンチマークとの差異について

(2022年10月8日～2023年10月10日)

【安定型】 / 【成長型】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■分配金について

【安定型】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	当 期
	2022年10月8日～2023年10月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,162

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

【成長型】

基準価額水準等を勘案して、分配は行わないことといたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

【分配原資の内訳】

(1万口当たり・税引前)

	当 期
	2022年10月8日～2023年10月10日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	3,688

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【安定型】

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

株式市場については、主要国のインフレの鈍化傾向や、堅調な労働市場、欧米の利上げが終盤との見方が広がっていることはプラスに働くと考えています。ただし、景気減速懸念や、株価の割高感が株価の上値を抑えると見ています。企業業績やバリュエーション等を鑑み、各地域の配分を決定する方針です。国債市場については、高い利回り水準は魅力と考えている一方で、インフレ圧力が持続する場合は主要中銀がタカ派に傾斜する可能性があり国債市場の重石となる見込みです。利回り水準や今後の金融政策動向を踏まえ、国債の各地域や年限の配分を決定していく方針です。社債市場は、主要国の金融政策を巡る憶測や景気減速懸念が変動要因になると見られます。ただし、企業財務状況が比較的良好であることや、高い利回りである社債への需要が市場を下支えすることが期待されます。利回りやスプレッド*水準を考慮して、社債の配分を調整する方針です。運用方針につきましては、引き続き債券の比率を高めとした資産配分を継続する予定です。また、主要経済指標や地政学リスクを注視しつつ各資産の組み入れ比率を機動的に変更する方針です。

【成長型】

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

株式市場については、主要国のインフレの鈍化傾向や、堅調な労働市場、欧米の利上げが終盤との見方が広がっていることはプラスに働くと考えています。ただし、景気減速懸念や、株価の割高感が株価の上値を抑えると見ています。企業業績やバリュエーション等を鑑み、各地域の配分を決定する方針です。国債市場については、高い利回り水準は魅力と考えている一方で、インフレ圧力が持続する場合は主要中銀がタカ派に傾斜する可能性があり国債市場の重石となる見込みです。利回り水準や今後の金融政策動向を踏まえ、国債の各地域や年限の配分を決定していく方針です。社債市場は、主要国の金融政策を巡る憶測や景気減速懸念が変動要因になると見られます。ただし、企業財務状況が比較的良好であることや、高い利回りである社債への需要が市場を下支えすることが期待されます。利回りやスプレッド水準を考慮して、社債の配分を調整する方針です。運用方針につきましては、引き続き先進国株式の比率を高めとした資産配分を継続する予定です。また、主要経済指標や地政学リスクを注視し、各資産の組み入れ比率を変更しつつ、外貨建資産の対円で為替ヘッジを機動的に行う方針です。

*スプレッド：主に主要国債（先進国国債など）利回りとの利回り格差のことで、発行体の信用力や流動性等の影響を受けます。一般的に、信用力が高まればスプレッドは縮小（価格の上昇要因）し、信用力が低下すればスプレッドは拡大（価格の下落要因）する傾向があります。

お知らせ

【安定型】／【成長型】

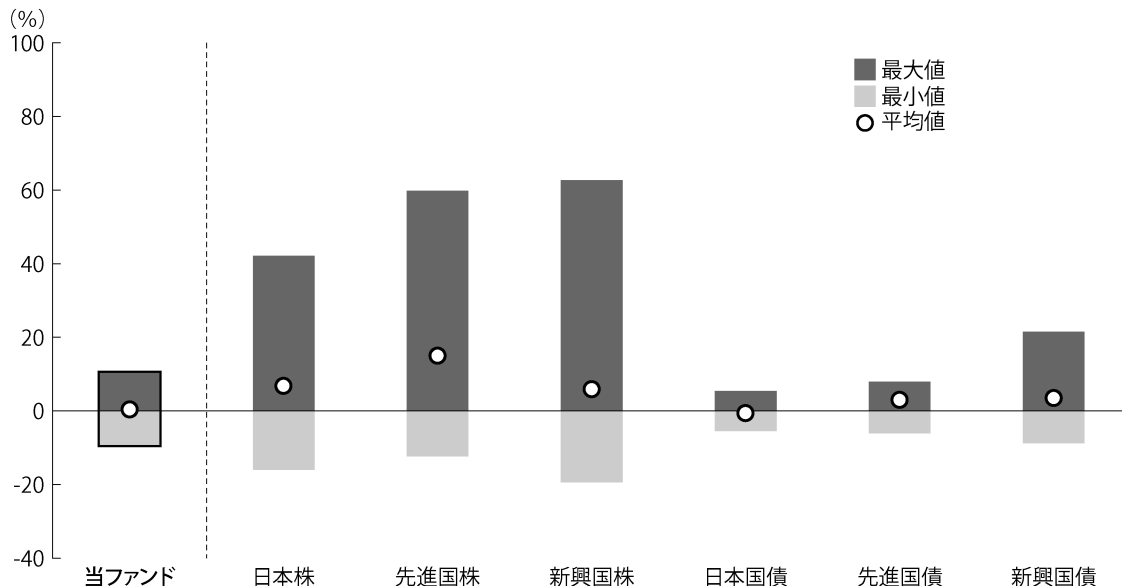
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券（以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	<p><安定型> 主として、先進国の株式及び国債並びに世界の投資適格社債等から構成される指数に連動する投資成果を目指す複数の上場投資信託証券及び別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）に投資を行います。なお、指定投資信託証券は見直されることがあります。上場投資信託証券及び指定投資信託証券の組入比率を機動的に変更することで、信託財産の中長期的な成長と短期的な基準価額の下落を概ね委託会社が定める水準に抑えることを目指します。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行います。</p> <p><成長型> 主として、世界の株式及び債券に加え、不動産投資信託証券、コモディティ及びヘッジファンド等から構成される指数に連動する投資成果を目指す複数の上場投資信託証券及び別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）に投資を行います。なお、指定投資信託証券は見直されることがあります。上場投資信託証券及び指定投資信託証券の組入比率を機動的に変更することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを機動的に行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時（原則として毎年10月7日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較（2018年10月末～2023年9月末）

【安定型】



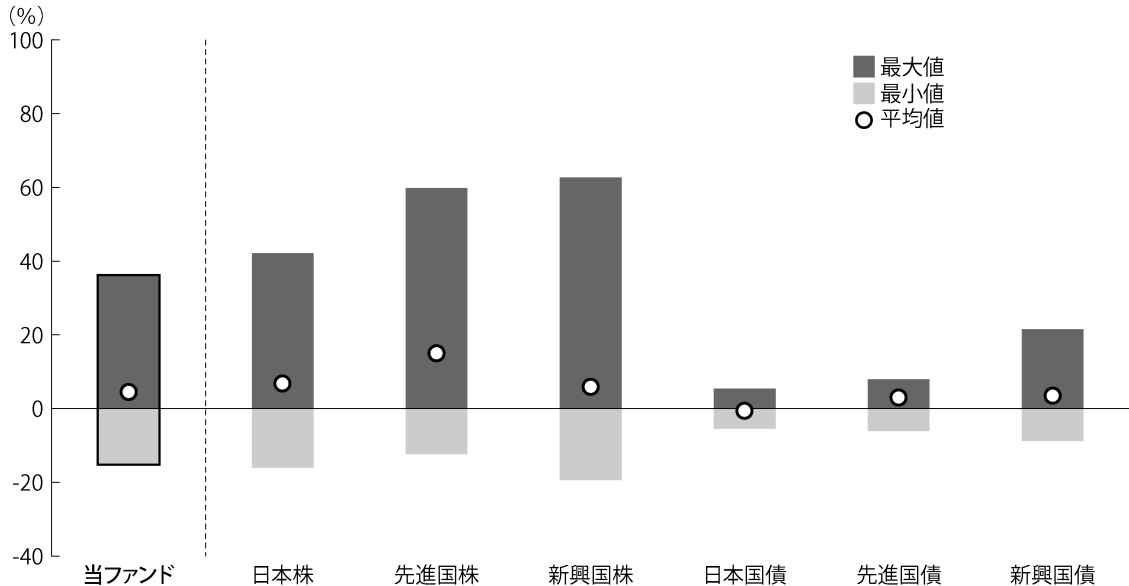
(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	0.4	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最大値	10.6	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△9.6	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

【成長型】



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	4.5	6.8	15.0	5.9	△0.6	3.0	3.5
最大値	36.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△15.2	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

(注) 全ての資産クラスが当該ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*2018年10月～2023年9月の5年間における年間騰落率の平均・最大・最小を、当該ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

(注) 先進国株、新興国株、先進国債及び新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）の指数値及びT O P I Xにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用等T O P I Xに関するすべての権利・ノウハウ及びT O P I Xにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、T O P I Xの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
- ・ M S C I コクサイ・インデックス及びM S C I エマージング・マーケット・インデックスは、M S C I インク（以下「M S C I」といいます。）が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C Iに帰属します。また、M S C Iは同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P Iは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「N F R C」といいます。）が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利はN F R Cに帰属します。なお、N F R CはN O M U R A - B P Iを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co.の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC（以下「J.P.Morgan」といいます。）が算出する債券インデックスであり、その著作権及び知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJ P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド及びそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

ファンドデータ

【安定型】

■当ファンドの組入資産の内容

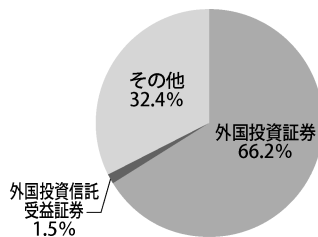
◆組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	ISHARES EURO CORP 1-5YR	11.6%
2	Xtrackers II Eurozone Gov Bond 3-5 UCITS	11.2%
3	UBS ETF B. US LIQ. CORP. 1-5	8.0%
4	Xtrackers S&P 500 Swap UCITS ETF	7.9%
5	Xtrackers II EUR Corporate Bond UCITS	6.1%
6	X USD CORPORATE BOND 1 C	4.6%
7	Xtrackers II US Treasuries UCITS ETF	4.0%
8	Xtrackers II Eurozone Government Bond	3.6%
9	Xtrackers II Japan Government Bond UCITS	2.3%
10	ISHR EDGE MSCI WRLD QLY FCTR	1.5%
組入銘柄数		16銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

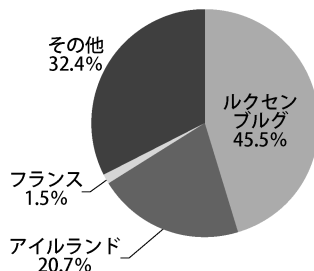
◆資産別配分



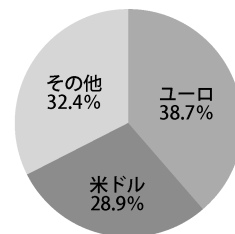
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

◆国別配分



◆通貨別配分



■純資産等

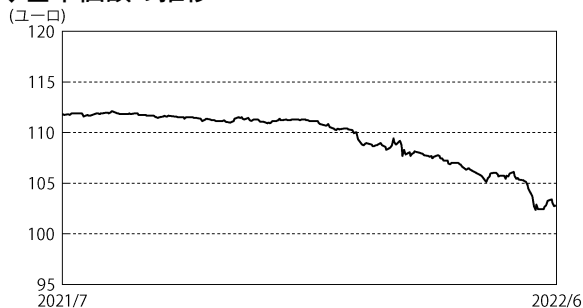
項 目	当 期 末
	2023年10月10日
純 資 産 総 額	577,226,966円
受 益 権 総 口 数	558,331,301口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	10,338円

当期中における追加設定元本額は95,497,033円、同解約元本額は93,613,943円です。

■組入上位ファンドの概要

ISHARES EURO CORP 1-5YR（2021年7月1日～2022年6月30日）

◆基準価額の推移



◆費用比率

項目	比率
費用比率	0.20%

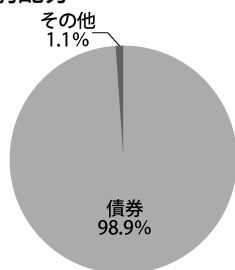
(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、費用比率の表示とさせていただきます。

◆組入上位10銘柄

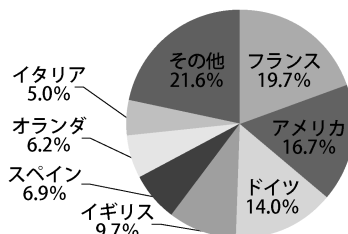
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	RABOBANK NEDERLAND NV RegS	オランダ	ユーロ	0.2%
2	BNP PARIBAS SA MTN RegS	フランス	ユーロ	0.2%
3	TOTAL SA MTN RegS	フランス	ユーロ	0.2%
4	JPMORGAN CHASE & CO MTN RegS	アメリカ	ユーロ	0.2%
5	JPMORGAN CHASE & CO MTN RegS	アメリカ	ユーロ	0.2%
6	VOLKSWAGEN INTERNATIONAL FINANCE N RegS	ドイツ	ユーロ	0.2%
7	WELLS FARGO & COMPANY MTN RegS	アメリカ	ユーロ	0.2%
8	BP CAPITAL MARKETS PLC NC6 RegS	イギリス	ユーロ	0.2%
9	ANHEUSER BUSCH INBEV NV MTN RegS	ベルギー	ユーロ	0.2%
10	COOPERATIEVE RABOBANK UA MTN RegS	オランダ	ユーロ	0.2%
組入銘柄数			1,890銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

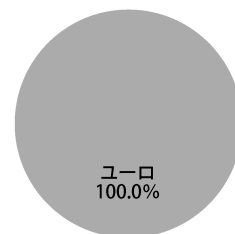
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



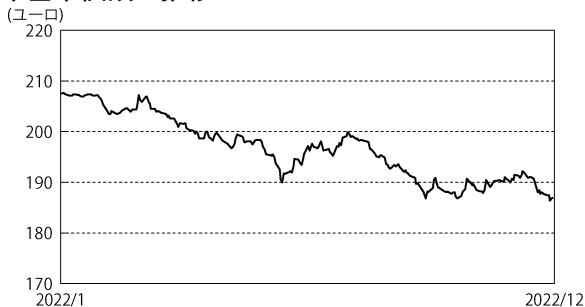
(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

Xtrackers II Eurozone Gov Bond 3-5 UCITS (2022年1月1日~2022年12月31日)

◆基準価額の推移



◆費用比率

項目	比率
費用比率	0.15%

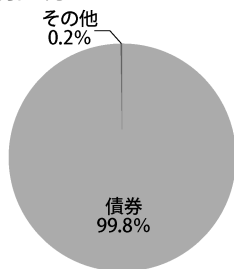
(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、費用比率の表示とさせていただきます。

◆組入上位10銘柄

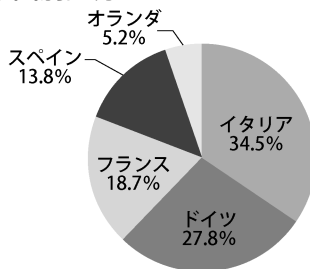
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	FRANCE (REPUBLIC OF) 26 0.0 2/26	フランス	ユーロ	9.9%
2	BBG0104M5X34 FRANCE (REPUBLIC OF) 2/27	フランス	ユーロ	8.8%
3	OBL 0 04/10/26	ドイツ	ユーロ	6.1%
4	BBG018BXGXL3 GERMANY (FEDERAL REPUBLIC) 27 1.3 10/27	ドイツ	ユーロ	6.0%
5	OBL 0 10/09/26	ドイツ	ユーロ	5.2%
6	OBL 0 04/16/27	ドイツ	ユーロ	4.7%
7	0.8% Spain 07/27	スペイン	ユーロ	4.7%
8	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND BONDS REGS 11/27 0.00000 11/27	ドイツ	ユーロ	4.6%
9	SPAIN (KINGDOM OF) 1/26	スペイン	ユーロ	4.6%
10	ITALY 0.9515 Sep 2027 9/27	イタリア	ユーロ	4.5%
組入銘柄数				22銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

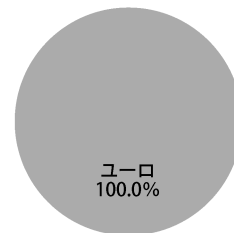
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



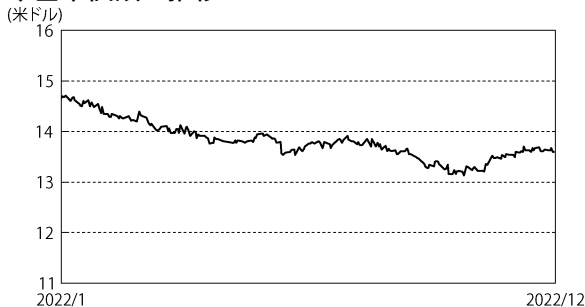
(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

UBS ETF B. US LIQ. CORP. 1-5（2022年1月1日～2022年12月31日）

◆基準価額の推移



◆費用比率

項目	比率
費用比率	0.18%

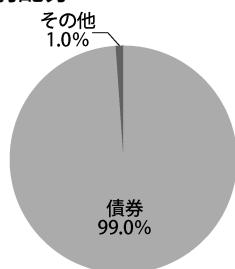
(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、費用比率の表示とさせていただきます。

◆組入上位10銘柄

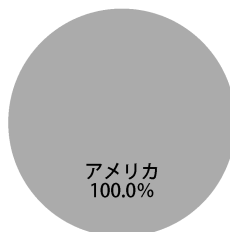
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	Bank of America 1.734% 22/07/2027	アメリカ	米ドル	1.6%
2	Boeing 2.196% 04/02/2026	アメリカ	米ドル	1.5%
3	Dell International via EMC 6.020% 15/06/2026	アメリカ	米ドル	1.4%
4	JPMorgan Chase & Co 4.851% 25/07/2028	アメリカ	米ドル	1.3%
5	T-Mobile USA 3.750% 15/04/2027	アメリカ	米ドル	1.2%
6	Goldman Sachs Group 1.948% 21/10/2027	アメリカ	米ドル	1.2%
7	Warnermedia Holdings 3.755% 15/03/2027	アメリカ	米ドル	1.1%
8	Morgan Stanley 6.296% 18/10/2028	アメリカ	米ドル	1.1%
9	Wells Fargo & Co 3.526% 24/03/2028	アメリカ	米ドル	1.0%
10	Wells Fargo & Co 4.808% 25/07/2028	アメリカ	米ドル	1.0%
組入銘柄数			201銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

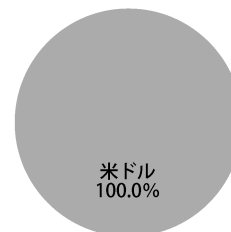
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

ファンドデータ

【成長型】

■当ファンドの組入資産の内容

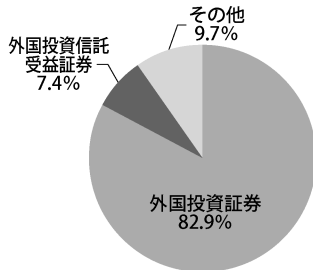
◆組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	Xtrackers S&P 500 Swap UCITS ETF	41.2%
2	Xtrackers MSCI EMU UCITS ETF	8.1%
3	AMUNDI ETF MSCI EUROPE EX EM	7.4%
4	Xtrackers MSCI Japan UCITS ETF	5.3%
5	ISHR EDGE MSCI WRLD QLY FCTR	4.3%
6	ISH EDGE MSCI WLD MIN VOL	4.1%
7	Xtrackers II Eurozone Gov Bond 3-5 UCITS	3.8%
8	ISH EDGE MSCI WLD VALUE	2.2%
9	UBS ETF B. US LIQ. CORP. 1-5	2.2%
10	ISHARES MSCI WORLD QUALITY DIV ESG ETF-E	2.1%
組入銘柄数		18銘柄

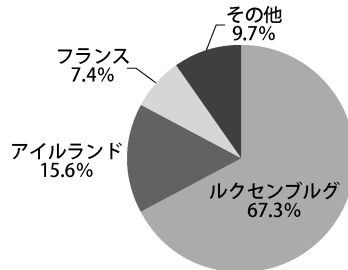
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

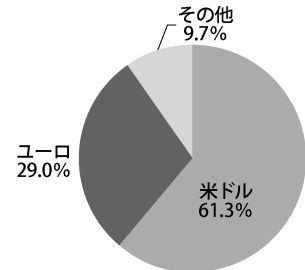
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

■純資産等

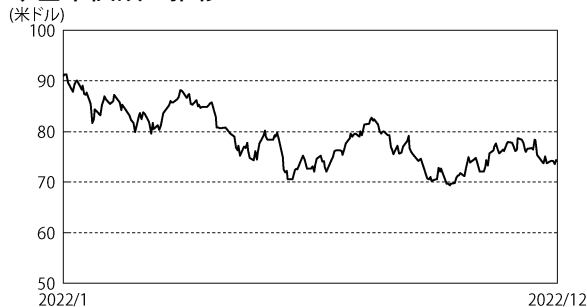
項 目	当 期 末
	2023年10月10日
純 資 産 総 額	716,568,991円
受 益 権 総 口 数	525,904,486口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	13,625円

当期中における追加設定元本額は111,417,460円、同解約元本額は83,121,637円です。

■組入上位ファンドの概要

Xtrackers S&P 500 Swap UCITS ETF（2022年1月1日～2022年12月31日）

◆基準価額の推移



◆費用比率

項目	比率
費用比率	0.15%

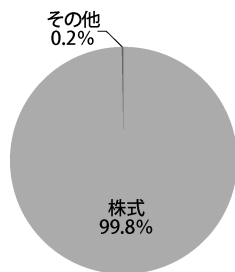
（注）上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、費用比率の表示とさせていただきます。

◆組入上位10銘柄

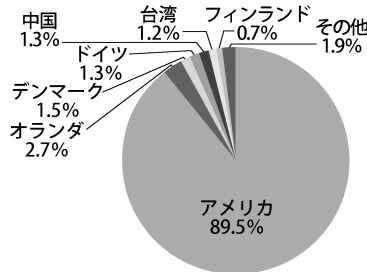
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	AMAZON.COM INC ORD	アメリカ	米ドル	3.0%
2	APPLE ORD	アメリカ	米ドル	3.0%
3	BERKSHIRE HATHWAY CL B ORD	アメリカ	米ドル	2.9%
4	WELLS FARGO ORD	アメリカ	米ドル	2.5%
5	PAYPAL HOLDINGS ORD SHS WHEN ISSUED	アメリカ	米ドル	2.2%
6	ARGENX NV ADR	オランダ	米ドル	2.1%
7	PBF ENERGY INC (ORDINARY)	アメリカ	米ドル	2.1%
8	EXXON ORD	アメリカ	米ドル	2.0%
9	TESLA ORD	アメリカ	米ドル	2.0%
10	MPLX LP	アメリカ	米ドル	1.9%
組入銘柄数			561銘柄	

（注）比率は純資産総額に対する割合です。

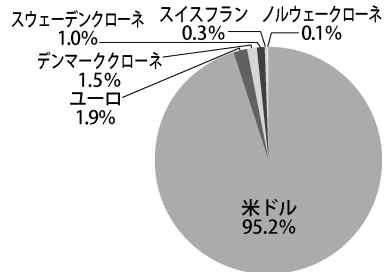
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注）資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

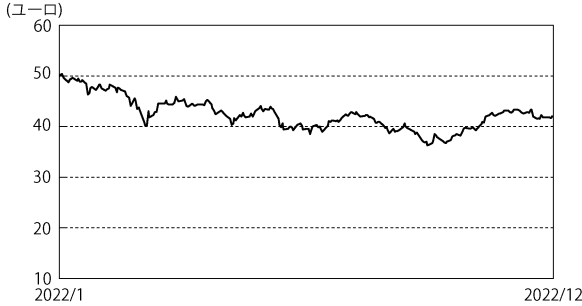
（注）国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

（注）当ETFは、対象指数を構成する銘柄に直接投資を行わず、スワップ取引を用いて、対象指数に連動した投資効果を目指します。

Xtrackers MSCI EMU UCITS ETF（2022年1月1日～2022年12月31日）

◆基準価額の推移



◆費用比率

項目	比率
費用比率	0.12%

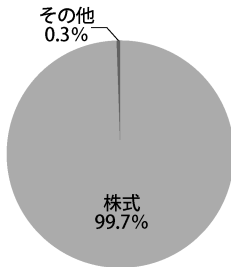
（注）上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、費用比率の表示とさせていただきます。

◆組入上位10銘柄

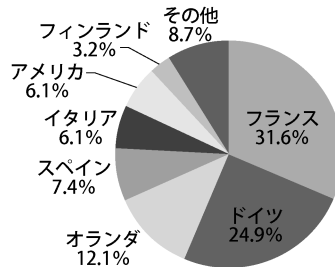
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	ASML HOLDING ORD	オランダ	ユーロ	4.8%
2	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITT	フランス	ユーロ	4.4%
3	TOTALENERGIES SE ORD	フランス	ユーロ	3.4%
4	SANOFI SA ORD	アメリカ	ユーロ	2.4%
5	SAP SE ORD	ドイツ	ユーロ	2.3%
6	SIEMENS ORD	ドイツ	ユーロ	2.3%
7	ALLIANZ SE ORD	ドイツ	ユーロ	1.9%
8	L'OREAL S.A.	フランス	ユーロ	1.9%
9	SCHNEIDER ELECTRIC SE	アメリカ	ユーロ	1.6%
10	AIR LIQUIDE ORD	フランス	ユーロ	1.6%
組入銘柄数			229銘柄	

（注）比率は純資産総額に対する割合です。

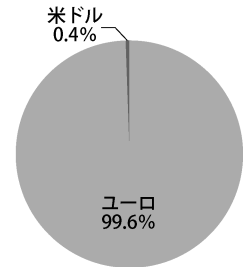
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



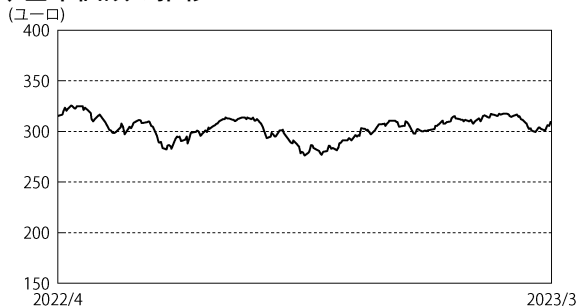
（注）資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

（注）端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

AMUNDI ETF MSCI EUROPE EX EM（2022年4月1日～2023年3月31日）

◆基準価額の推移



◆費用比率

項目	比率
費用比率	0.30%

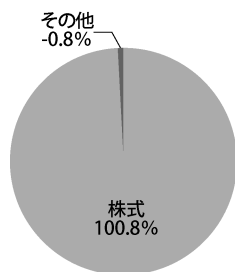
(注) 上記につきましては、「1万口当たり」でのデータ取得が困難なため、費用比率の表示とさせていただきます。

◆組入上位10銘柄

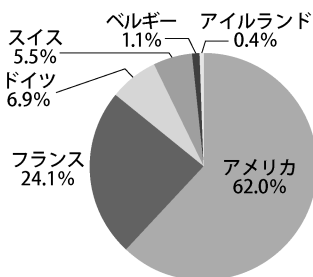
	銘柄名	国名	通貨名	比率
1	L'OREAL PRIME FID	フランス	ユーロ	8.9%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	米ドル	7.1%
3	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	米ドル	5.9%
4	SANOFI	フランス	ユーロ	5.6%
5	TE CONNECTIVITY LTD	スイス	米ドル	5.5%
6	TOTALENERGIES SE PARIS	フランス	ユーロ	5.1%
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	米ドル	4.8%
8	LULULEMON ATHLETICA	アメリカ	米ドル	4.7%
9	DEUTSCHE BANK NAMEN	ドイツ	ユーロ	4.6%
10	PAYCHEX INC	アメリカ	米ドル	4.5%
組入銘柄数				34銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

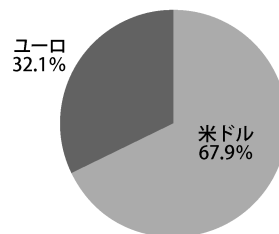
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。